

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 2014年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

※本表はCASBEE評価用表であり、環境配慮設計の概要を記載するものではありません。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳				
■1. 「地球温暖化対策」の推進							
1.1 建物の熱負荷抑制							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	1.00	G1	室内環境	2	温熱環境	
	0.0	0.00			2.1	室温制御	
	0.0	0.00	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制	
小計	3.0	0.03				2	外皮性能
1.2 自然エネルギーの利用							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	0.0	0.00	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	
小計	0.0	0.00					
1.3 設備システムの高効率化							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	0.0	0.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化	
小計	0.0	0.00					
1.4 設備システムの効率的運用							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	
					4.1	モニタリング	
					4.2	運用管理体制	
小計	3.0	0.61					
1.5 資源・マテリアル対策							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 躯体と仕上材が容易に分別可能となっている	1.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
	3.0	0.11	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
	3.0	0.05	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
	2.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	1.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	2.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	4.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
小計	2.5	0.36					
1.6 ライフサイクルCO2排出率							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	0.0	0.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮	
小計	0.0	0.00					
1. 「地球温暖化対策」の推進の評価							
	2.8	0.65					
■2. 「ヒートアイランド対策」の推進							
2.1 温熱環境の向上							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	1.0	0.47	G3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出	
	2.0	0.24	G3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	
	3.0	0.29	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	
小計	1.8	0.96			2.2	温熱環境悪化の改善	
2.2 交通負荷抑制							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	
					2.3	地域インフラへの負荷抑制	
					3	交通負荷抑制	
小計	3.0	0.04					
2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価							
	1.9	0.26					
■3. 「長寿命化対策」の推進							
3.1 耐用性の向上							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 空調・給排水管は、上位3種がB以上、Eは不使用と、耐用年数の長い材料を採用している。	3.0	0.18	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.27	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.05	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.05	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
小計	3.2	0.58			2.1	耐震・免震	
					1	耐震性	
					2.1	耐震・免震	
					2	免震・制振性能	
					2.2	部品・部材の耐用年数	
					1	躯体材料の耐用年数	
					2.2	部品・部材の耐用年数	
					2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
					3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
					2.2	部品・部材の耐用年数	
					4	空調換気ダクトの更新必要間隔	
					2.2	部品・部材の耐用年数	
					5	空調・給排水配管の更新必要間隔	
					2.2	部品・部材の耐用年数	
					6	主要設備機器の更新必要間隔	
3.2 設備の更新性							
(コメント) ※設計の計画に特段に配慮した事項を記載してください	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
小計	3.0	0.42			3.3	設備の更新性	
					1	空調配管の更新性	
					3.3	設備の更新性	
					2	給排水管の更新性	
					3	電気配線の更新性	
					3.3	設備の更新性	
					4	通信配線の更新性	
					3.3	設備の更新性	
					5	設備機器の更新性	
					3.3	設備の更新性	
					6	バックアップスペースの確保	
3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)							
	3.1	0.08					
■重点項目の総平均(上記3項目)							
	2.6						